

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(19)	居心地のよい共有空間作り。おおよそは清掃が行き届いているものの一部の棚に乱れが見られる。	棚を含め、整理整頓ができていない箇所をゼロにする。	今、一度、棚を含め、整理整頓ができていないところがないか見て回り、整理整頓を行う。	2ヶ月
2	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援。家族から「写真が見たい」という要望があるにも関わらずできていない。	各居室に、アルバムを置くなどして面会に来てくれたご家族様に見て頂けるようにする。	まずは、アルバムを購入する。そして、今まで撮った写真の中から、ふさわしいものをアルバムに挟む。 その後、行事などを写真に残し、追加していく。	4ヶ月
3	(2)	事業所と地域とのつきあい。近場にベーカリーショップがあるにも関わらず、有効活用できていない。	ベーカリーショップと友好的な関係を築き、つながりを深めていく。	散歩時に、ベーカリーショップでの買物を行う。 ある程度、仲を深められたところで、店長さんに協力をあおぎ、施設でパンを焼いていただく。	12ヶ月
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み。運営推進会議に地域のキーパーソンと言うべき町内会長を呼べていない。	町内会長に運営推進会議に来ていただき、地域の情報を得ると同時に、地域とのつながりを深めていく。	町内会長は、自事業所が運営推進会議を行う金曜日は、仕事が忙しいため、運営推進会議に出席することが難しい。本社に相談して金曜日以外に運営推進会議を開くことを検討するか、元町内会長に出席していただくかする。	8ヶ月
5	(18)	外出支援。日常的な散歩などはできているものの、重度化が足かせとなって、車での遠方への外出支援ができていない。	年に数回、行事の一環として車での遠方への外出を行う。	まずは、年間の外出計画を立てる。その後、本社への協力をあおぎ、車及び人員を揃え、行事の一環として、行楽地への遠方支援を行う。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。